

平成 28 年 5 月 5 日発生しましたグライダー事故の概要

平成 28 年 5 月 18 日

皆 様 へ

仙台市若林区沖野 7-21-23
公益社団法人 宮城県航空協会
理事長 木村 義彦

当協会所属会員操縦のグライダーが平成 28 年 5 月 5 日午後 2 時 15 分頃（報道による）福島県三春町の山林に墜落し、機長が死亡した事故について取り急ぎご報告いたします。

1. 機長 高森 晴樹(43 歳)

所属 公益社団法人 宮城県航空協会

2. 発生日時 平成 28 年 5 月 5 日 午後 2 時 15 分頃（報道による）

3. 発生場所 福島県三春町富沢の山林

4. 航空機 登録記号 JA21BB

型 式 グラスフリーゲル式 304CZ-17

所有者 滝川 勉（4 名の共有者の代表者、共有者に高森 晴樹も含む）

5. 飛行目的 奥羽山脈等に発生する山岳波（ウェーブ）を利用したクロスカントリーフライト

6. 出発場所及び帰投場所 角田滑空場（阿武隈川河川敷左岸、角田市佐倉川原地先）

7. 出発時間 平成 28 年 5 月 5 日午前 11 時 55 分

8. 搭乗者 1 名

9. 事故の概要

(1) 出発前の概要

高森晴樹は午前 9 時前に角田滑空場に到着後、当該機である JA21BB を組立及び発航準備。9 時 32 分複座練習機 JA2326 を使用して教官同乗で技量及び体調のチェックフライトのためウインチ曳航で離陸、9 時 37 分着陸し滞空時間 5 分。2 回目のフライトは JA21BB に搭乗しウインチ曳航で 10 時 02 分に離陸、11 時 16 分着陸し滞空時間 1 時間 14 分。機体及び体調等の異常報告は特になかった。

【注釈：ウインチ曳航とは地上にあるワイヤー巻き取り装置でワイヤーを高速で巻き取り、風揚げのように上げる曳航方法。飛行機曳航とは軽飛行機にグライダーを曳航索でつないで上空に曳き上げる方法。】

(2) 事故の概要

仙台空港事務所への本人からの電話によるフライトプランファイルの内容は宮城県の船形山方面から栃木県的那須の手前方面をフライトし 18 時までに角田滑空場に戻る計画でした。

【注釈：グライダーは動力がないので船形山方面から栃木県的那須の手前方面という

意味は気象条件によってはその方面を飛ぶかもしれませんという意味。「18時までに戻
る計画」の意味は、動力がないので18時まで飛行することができる保証はないので
「18時まで飛び続けて戻る」と言う意味ではありません。」

離陸は午前11時55分飛行機曳航で行い本人希望の離脱予定高度は3,000ft（約900m）でしたが2,700ft（約810m）で離脱。その後、航空法等のフライトルールに従い仙台TCA（レーダーで航空管制している部署）にレーダーアドバイザリーを受け福島方面に高度を上げながら飛行し、高度約18,000ftまで上昇したと推測される（仙台TCAの無線傍受）。

【参考：三春町上空空域は仙台TCA担当空域から東京コントロール担当空域に移行する空域です。】

時間は不確定ですが午後2時前後に角田滑空場上空付近を飛行していた当協会の所属機JA2186が仙台TCAから「角田フライトサービスの無線周波数でJA21BBを呼んでみて欲しい」との依頼を受けた旨の無線連絡があったのでピスト（グライダー訓練の指揮所）から呼び出したが応答はなかった。その時点で何か異変が起きた可能性を感じたので、東京コントロールの無線周波数で傍受を試みたがJA21BBに関する情報を入手することは出来なかった。

不安のまま時間が過ぎたが、午後3時43分頃木村理事長の携帯電話に知人から三春町にグライダーが墜落したとの一報があり、JA21BBの可能性が疑われるので、直ちに三春町管轄の田村警察署の電話番号を調べ木村理事長が電話し登録記号を確認したところJA21BBであることが判明し墜落の事実と操縦者の死亡を確認した。

墜落現場の機体の状態は両翼が機体から脱落し、胴体後部がちぎれ落ちていたが付近にはなく、コックピットを含む機首から約5mの長さの胴体だけ山林に右側を下に横倒しの状態で墜落していた。周囲にはキャノピーの破片や機体の装備品、操縦者の所持品が散乱していたが操縦者はシートベルトで座席に固定された状態だった。

目撃者は山林の近くで農作業をしていた山林の所有者で、警察への通報者です。尚、報告書作成の5月18日時点において脱落した左右の主翼と垂直尾翼、水平尾翼を含む後部胴体は発見されておられません。現在、福島県警が事故として調査、運輸安全委員会の航空事故調査官が再発防止の観点から原因を究明しております。

最後になりましたが大切な大切な仲間を失いました。悲しくて、悔しくて、やりきれない気持ちでいっぱいです。故高森晴樹さんの御霊に心から宮城県航空協会を代表し哀悼の誠を捧げ、ご冥福をお祈り申し上げます。今後はかけがえのない尊い高森晴樹さんの命を奪ったこの事故を教訓に二度とこのような事故を起こしてはならないことを固く心にお誓い申し上げます。

以上